

# 令和7年度 検診のお知らせ

●受診券は、同封されているシールになっているものです。

熊谷市国保  
後期高齢者医療制度  
加入者は**無料**です！



- ★このお知らせは、受診のきっかけとしていただくため、また、継続的に受診していただくため、次の方に受診券をお送りしています。
- ・今年度中に、40・45・50～65・70・75・80歳になる方、20・25・30・35歳になる女性
  - ・前年度(令和6年度)、前々年度(令和5年度)に何らかの検診を受診された方
  - ・受診券の申込みをされた方

## がん検診等

熊谷市では、健康増進法に基づき下記のがん検診等を実施しています。

多くのがんは早期発見により治癒可能ですが、がんは相当進行した段階で初めて症状が出る場合が多く、早期のがんでは症状が出ることはほとんどありません。がん検診は、症状のない方を対象とし、主に早期がんを発見するのに有効です。健康管理のため計画的にがん検診を受けましょう。

なお、何か自覚症状がある方は、早めに保険証を使って医療機関を受診することをおすすめします。

対象年齢：令和8年4月1日現在

検診名	対象者	内容	検診費用(自己負担額)
胃がん検診	50歳以上の方 (2年に1回) ※1	胃部X線検査 または胃内視鏡検査	1,500円
大腸がん検診	40歳以上の方	便潜血検査	容器代含む 500円
肺がん(結核)検診	40歳以上の方	胸部X線検査	500円
		喀痰検査(対象者のみ)	容器代含む 500円
子宮頸がん検診 <small>※子宮体がんのみの受診は不可</small>	20歳以上の女性 (2年に1回)	内診 細胞診	子宮頸部 1,000円 子宮頸部・体部 (医師の指示により) 1,500円
乳がん検診	40歳以上の女性 (2年に1回)	マンモグラフィ ※2	40歳以上 マンモグラフィ(2方向) 1,500円
			50歳以上 マンモグラフィ(1方向) 1,000円
前立腺がん検診	50歳以上の男性	血液検査(PSA)	500円
骨粗しょう症検診	40・45・50・55・60・ 65・70歳の女性	骨量測定	500円
肝炎ウイルス検診	40歳の方	血液検査 (HBs抗原検査・HCV抗体検査 (必要によりHCV核酸増幅検査))	500円
個別健康診査	市の生活保護を受給し、 健康保険に加入されていない 40歳以上の方	身長・体重・腹囲 ・血圧・血液検査	無料 この健診は事前に保健センターへの 申込みが必要

◎「熊谷市国民健康保険」「後期高齢者医療制度」に加入している方、障害者手帳をお持ちの方、生活保護受給の方は、証明証の提示で検診費用(自己負担額)が**無料**になります。

◎ 各検診とも、実施期間内(令和7年6月～令和8年3月末)に1回受診できます。  
ただし、胃がん・子宮頸がん・乳がん検診は、2年に1回の受診になります。検診を継続して受診しましょう。

※1 国のがん検診指針の改正(H28.2)に伴い、令和元年度から、胃がん検診の対象者が変更(50歳以上の方で2年に1回)になりました。今年度の対象者は、前年度に胃がん検診を受診されていない50歳以上の方です。

※2 国のがん検診指針の改正(H28.2)に伴い、乳がん検診の検査項目から視触診を除外しました。医師による視触診はありません。

◎ **要精密検査となった場合には、必ず精密検査を受けましょう。**

◎ **次の方は、受診できません。**

- ① 人間ドックや勤務先等で、検診を受ける機会のある方 (熊谷市国保人間ドック検査の助成を受けた方)
  - ② 妊娠中の方
  - ③ がん・骨粗しょう症・肝炎で現在治療中の方 (該当検診のみ)
  - ④ 豊胸術(シリコン、ヒアルロン酸、自家脂肪など)をされている方、ペースメーカー、CVポート、シャント用カテーテルなどが埋め込まれている方 (乳がん検診のみ)
- ◎ 熊谷市が定める検診内容とは別に、医師の判断によりさらに詳細な検査を同時に実施する場合があります。この場合、別途、検査費用がかかりますので、ご注意ください。  
検査の内容、料金等に関して不明な点があれば、その場で医療機関から説明をお聞きください。

◎ 胃内視鏡検査等で生検等の医療行為を受けた場合は、別途医療費が必要となります。

◎ **熊谷市から転出された方は、受診券を使用することはできません。**

◎ がん検診は、死亡率減少効果がありますが、必ずがんを見つけられるわけではありません。また、がんがなくても結果が「陽性」となる場合もあります。